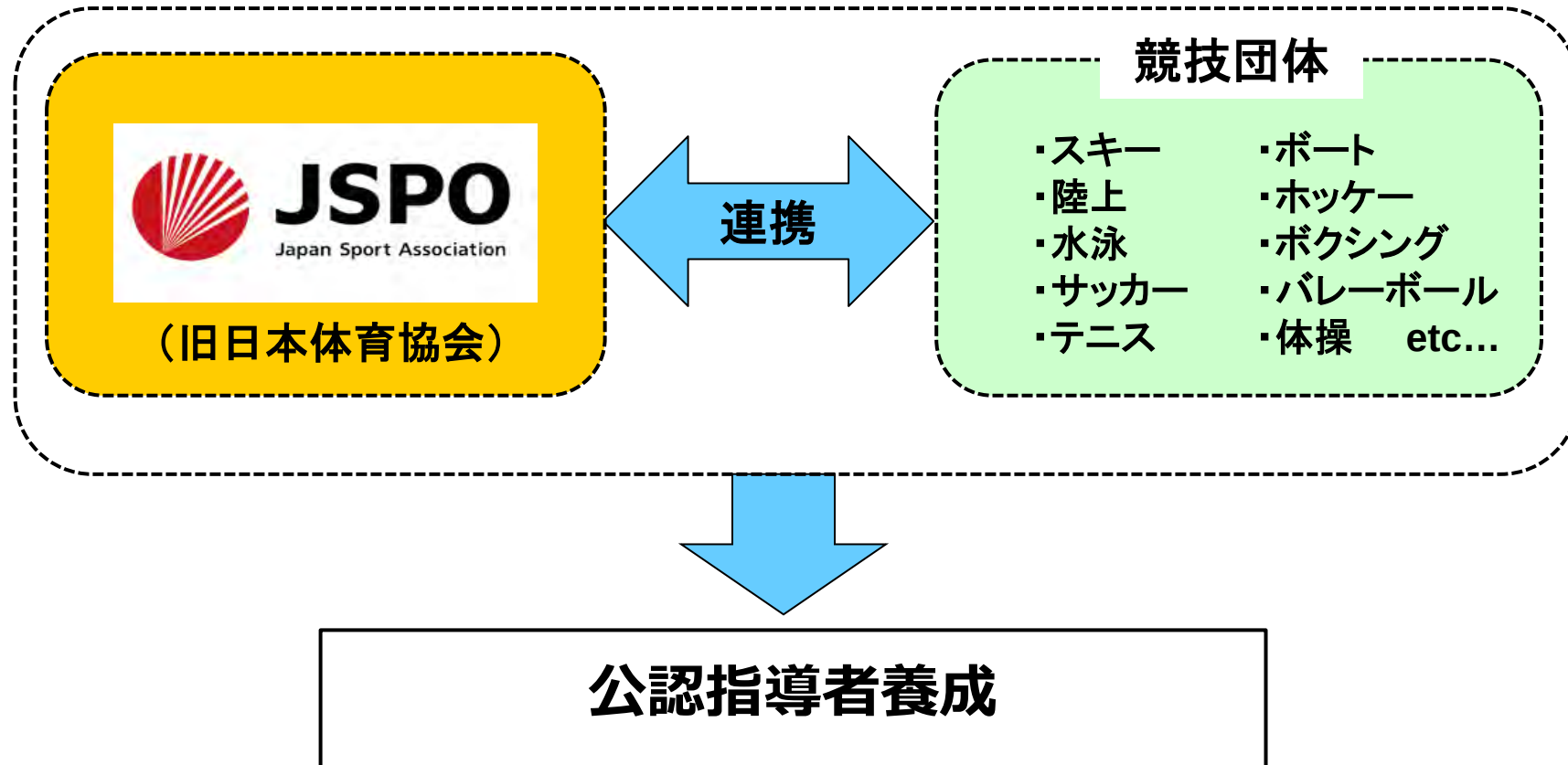


日本スポーツ協会（JSP〇）公認スポーツ指導者資格
スキー・スノーボード コーチ 説明資料

Ver. 2022.5.10

■ 公認スポーツ指導者資格とは

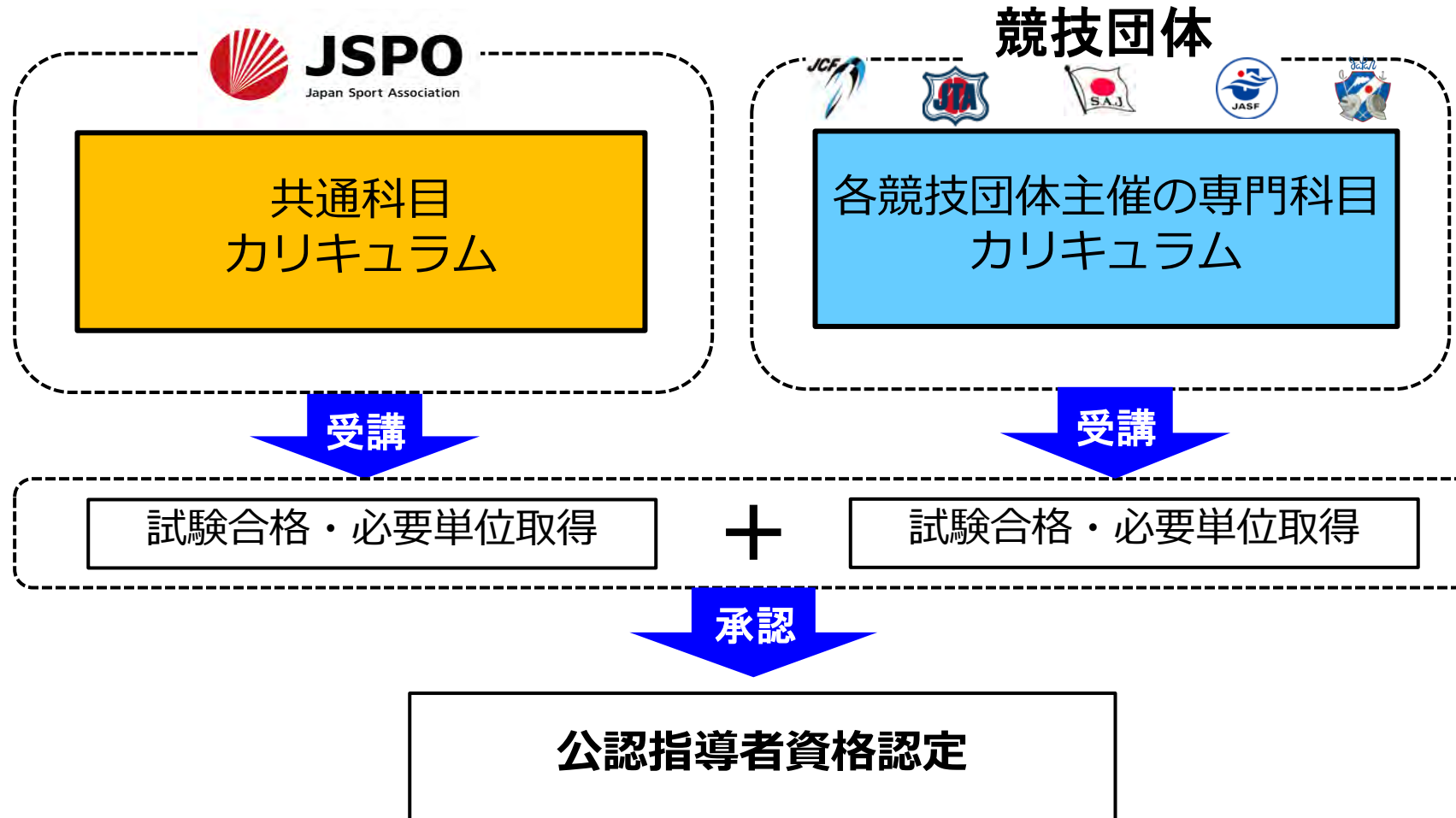
- ・ 日本スポーツ協会（以下JSPO）と各競技団体が連携して認定している指導者資格を認定している。



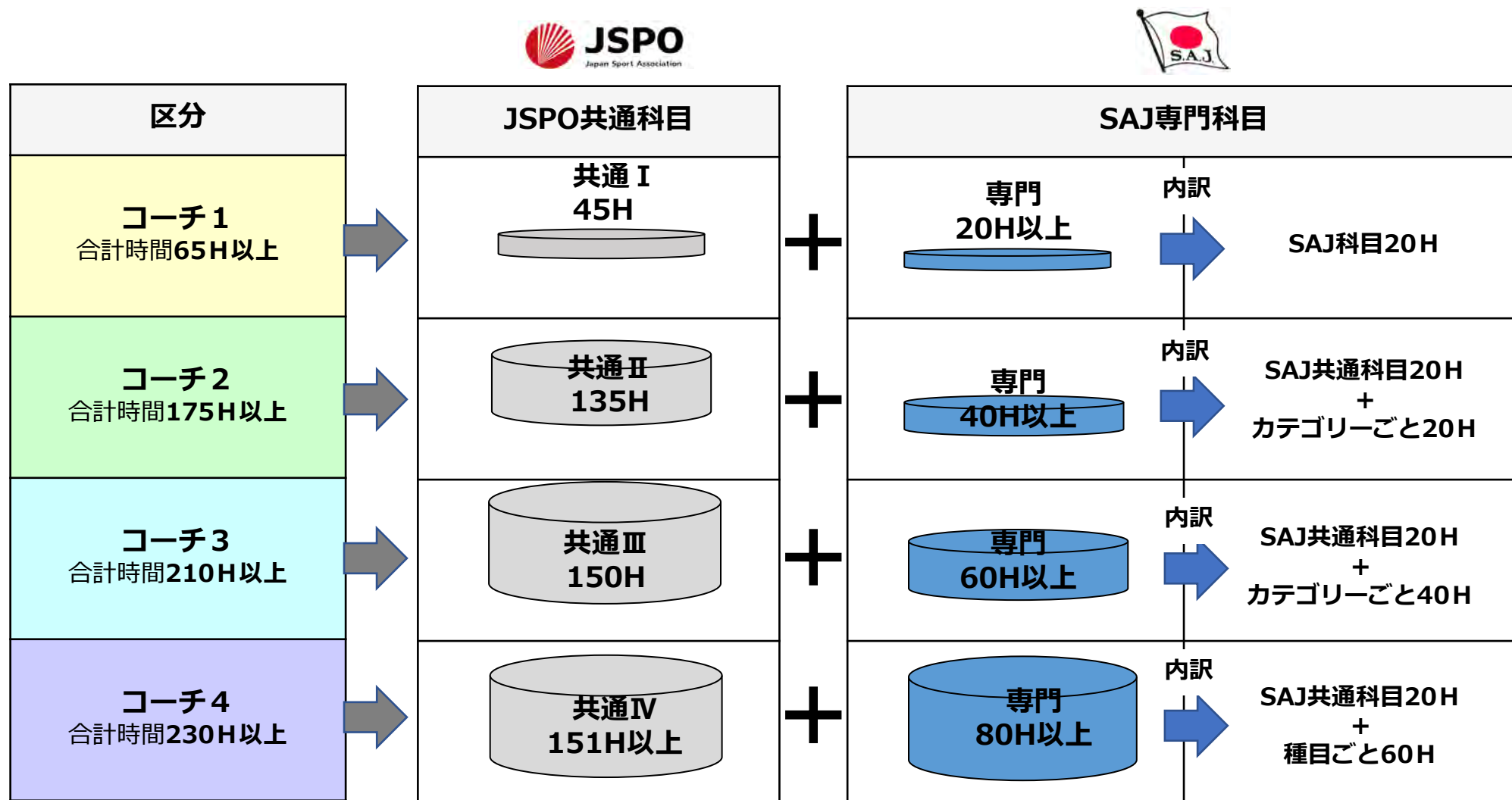
- ・ 60の競技団体が加盟・資格を認定
- ・ 2018年時点で156181名が資格を保有している

■ 公認スポーツ指導者資格とは

- ・ JSPOが行っている全競技共通のカリキュラム＋各競技団体が行っている競技に特化したカリキュラムを受講し、それぞれに合格することで認定される。



■ 学習構造と時間数



■JSPO共通科目カリキュラム学習内容

資格名称		コーチ1 (旧:指導員)	コーチ2 (旧:上級指導員)	コーチ3 (旧:コーチ)	コーチ4 (旧:上級コーチ)
受講科目	共通科目	共通科目Ⅰ 45h	共通科目Ⅱ 135h	共通科目Ⅲ 150h	共通科目Ⅳ 151h以上
	専門科目	専門科目 20h以上	専門科目 40h以上	専門科目 60h以上	専門科目 80h以上
指導対象者像 (想定)		すべてのプレーヤー(幼児期・児童期の子どもから、中高年の愛好者・健康志向者、競技者を含むスポーツ実施者全体を指す) ※指導対象者の競技技能レベルや年齢等については、各専門科目実施団体において定める。			
受講条件		・受講年度の4月1日現在で満18歳以上の者 ・専門科目実施団体が認めた者	・受講年度の4月1日現在で 満20歳以上の者 ・専門科目実施団体が認めた者		・受講年度の4月1日現在で 満22歳以上の者 ・コーチ3資格保有者 ・専門科目実施団体が認めた者
受講者像 (想定)		・スタートコーチ資格保有者 ・保護者・教員・ボランティア 等でコーチングを学びたい方	・コーチ1資格保有者 ・『6. 資格取得後の役割』を 現在担っている、または 今後担う意思がある方	・コーチ2資格保有者 ・『6. 資格取得後の役割』を 現在担っている、または 今後担う意思がある方	・コーチ3資格保有者で、 『6. 資格取得後の役割』を 現在担っている、または 今後担う意思がある方
資格取得後の役割 (講習内容を踏まえた指導領域 や役割)		・地域スポーツクラブ・スポーツ 少年団・学校運動部活動等での コーチングスタッフ ・基礎的な知識・技能に基づき、 安全で効果的な活動を提供する	・地域スポーツクラブ・スポーツ 少年団・学校運動部活動等の 監督・ヘッドコーチ ・責任者として安全で効果的な 活動を提供し、指導計画を 構築・実行・評価し監督する ・コーチ間の関わり・成長を 支援する	・ブロック～全国大会レベルの プレーヤー・チームに対して 競技力向上を目的とした コーチングを行う ・トップリーグ、実業団の コーチングアシスタント (指導補助)	・国際大会レベルのプレーヤー・ チームに対して競技力向上を 目的としたコーチングを行う ・トップリーグ、実業団の コーチングスタッフ ・ナショナルチームの コーチングスタッフ
共通科目受講で 得られるコンピテンス (他者との関わりの中で習得さ れ、発揮される能力)		・スタートコーチ共通で得られる コンピテンス ・倫理的な指導・コミュニ ケーション ・指導対象者との信頼関係構築 ・スポーツを通じたライフデザインに係る基礎的理解	・共通科目Ⅰで得られる コンピテンス ・所属先・保護者・他のコーチ との信頼関係構築 ・指導対象者のスポーツを通じた ライフデザインを念頭に置いた 指導力	・共通科目Ⅱまでに得られる コンピテンス ・スタッフ(コンディショニング スタッフ等)との信頼関係構築 ・指導対象者自身が自らスポーツ を通じてライフデザインできる よう促す指導力	・クラブ／チームの経営資源の 有効活用 ・海外での活動、国際大会等への 準備と管理 ・指導対象者へのスポーツ・ インテグリティ教育 ・一般社会・メディアとの 関係構築 ・スポーツを通じてライフデザイ ンできるコーチを育成・指導
専門科目受講で 得られると想定されるコンピテ ンス		・競技特性、技術構造等 当該競技への基礎的理解 ・日々の活動(練習・試合)を 実施するための指導力	・当該競技への基礎的理解を 踏まえた指導力 ・指導計画に関するビジョンと 戦略の設定 ・指導に適した環境整備(クラブ ／チームのマネジメント)	・当該競技の全体像を踏まえた 指導力 ・指導に適した環境整備	・当該競技を発展させることが 出来る指導力 ・海外での活動、国際大会への 準備と管理 (競技特性を踏まえる)

■ スキー・スノーボード コーチ：各資格の役割

資格	指導対象	役割
スキー・スノーボード コーチ1	クラブ所属 ジュニア選手	発育発達期の子どもたちや初心者に対し、指導者育成カリキュラムに則り、様々な運動経験と遊びを通じた身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。
スキー・スノーボード コーチ2	加盟団体 強化選手	競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、広域エリア内の有望競技者の強化指導にあたる。
スキー・スノーボード コーチ3	SAJ育成選手 ・強化選手	トップアスリートの育成・強化にあたるとともに、国際的な視野を持ち、全日本スキー連盟において強化スタッフとして競技力向上策の研究開発に参画する。
スキー・スノーボード コーチ4	SAJ強化選手 指導者育成	国際的な視野と人間的にも優れた資質をもち、高い指導力・実技能力・知識を有する指導者として、トップアスリートの育成・強化にあたる。また、全日本スキー連盟において強化スタッフの中心的役割として、競技者指導育成システムの推進活動や研究開発に参画する。

***コーチ2、3、4は2022年度は実施しない**

■ スキー・スノーボード コーチ1

【養成目的】

地域スポーツクラブ（スポーツ少年団など）やサークルにおいて、初心者や子どもたちを対象にスキー・スノーボードの基礎的指導にあたる指導者を養成する。

【役割】

発育発達期の子どもたちや初心者に対し、指導者育成カリキュラムに則り、様々な運動経験と遊びを通した身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。

【カリキュラム】

J S P O 共通科目 4 5 H （共通科目 I ） + S A J 専門科目 2 0 H

【受講条件】

受講年度の4月1日に満20歳以上で、全日本スキー連盟会員登録をしていること。

【受講料・登録料】

JSPO共通科目23,100円（N H K 学園）+ SAJ 専門科目【登録料】4年間で10,000円（初回登録時のみ+ 3,000円）

【担当委員会】

SAJ競技本部

学習時間内訳

資格名	JSPO共通科目	SAJ専門科目
SAJコーチ1	JSPO共通科目 I 45H	SAJ共通科目 20H

コーチ1 学習時間合計65H

■ スキー・スノーボード コーチ1：専門科目カリキュラム

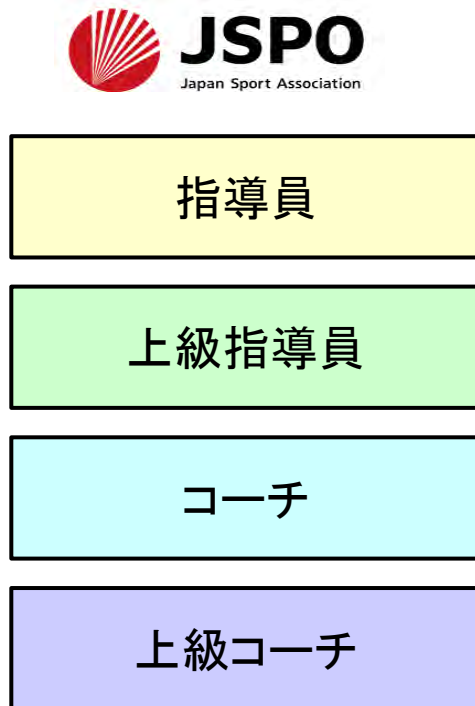
合計20時間 *自宅学習（Eラーニング）＋講習会1日で実施予定

カリキュラム名	学習目的	学習内容	時間数
社会学	スポーツの価値	スノースポーツ（競技）の歴史	2
		SAJの組織体制と事業紹介	2
		競技別強化拠点	2
指導者論	指導者の役割	SAJが考える望ましい指導者像	1
マネジメント論	プランの構築と実践	指導計画とその実行	2
医学	傷害予防と対策	救急救命法、応急処置（実技講習）	2
安全管理	環境へのリスク管理	ゲレンデ、スポーツ施設における安全管理	2
アンチドーピング	競技スポーツの価値を守る	スキー・スノーボードにおけるアンチドーピングとは	1
競技知識	SAJルール・ICRの理解	ICRの基礎・SAJルール（国体ルール等）	1
		競技規則と運営	1
トレーニング論	機能向上と傷害リスクの低減	ケガをしない体づくり	2
		基礎エクササイズ	2
SAJ専門科目合計時間			20

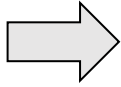
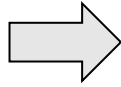
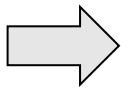
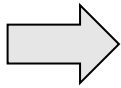
■JSPOの資格制度変更

- ・ 2019年4月より日本スポーツ協会のコーチの資格名称や共通科目カリキュラムの内容や実施形態が変更された。

【2019年3月まで】



変更



【2019年4月から】



JSPO変更点

- ・スタートコーチの実施
- ・共通科目カリキュラム内容
- ・共通科目のカリキュラム時間数

■SAJにおける新資格制度への移行

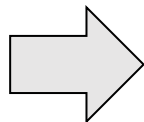
【旧制度】



JSPO認定

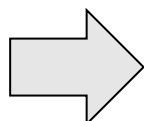


SAJ準指導員



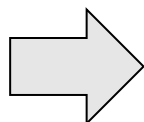
スキー指導員

SAJ指導員



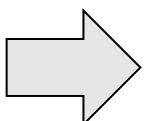
スキー上級指導員

SAJ B級コーチ



スキー又はスノーボード コーチ

SAJ A級コーチ



スキー又はスノーボード 上級コーチ

※このJSPO認定方法は、すでに廃止となっています。



移行

スタートコーチ

スキー コーチ1

スキー コーチ2

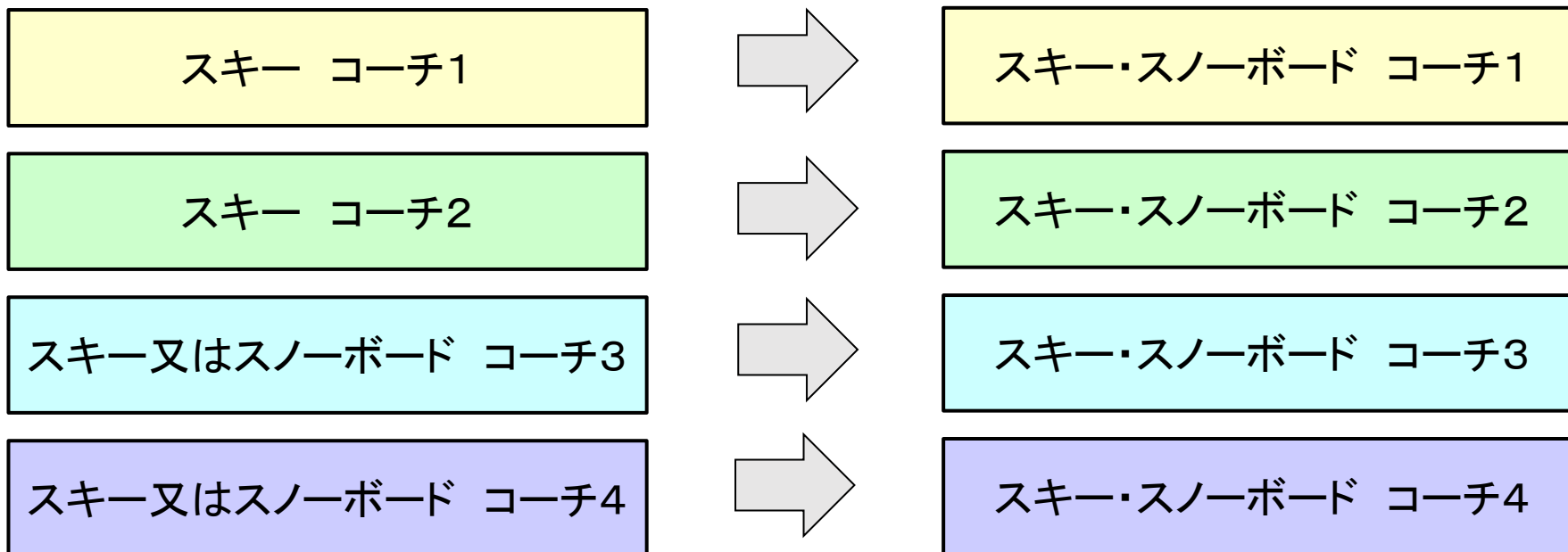
スキー又はスノーボード コーチ3

スキー又はスノーボード コーチ4

すでに取得済みの資格においては
そのまま移行。

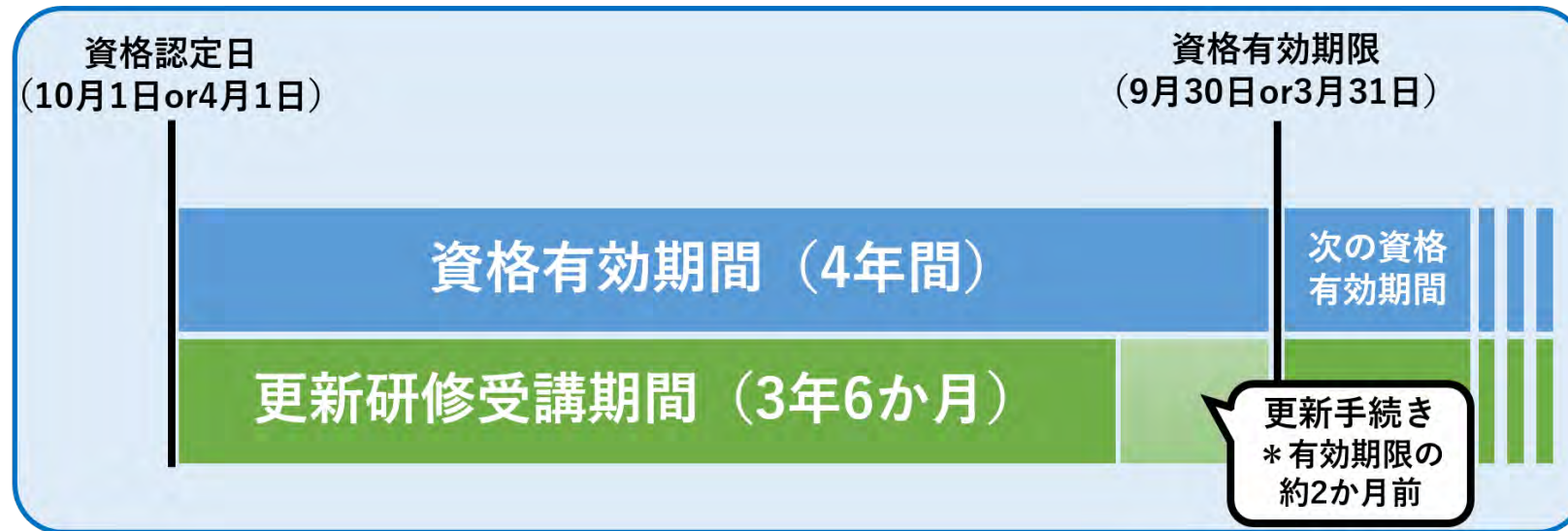
■名称変更

- ・カリキュラムの改定に伴い資格名称を変更
- ※2022年6月上旬ごろ、JSPOにて実施予定



■資格の更新について

公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間です。資格を更新するためには、資格有効期限の6か月前までに、更新研修会を最低1回受ける必要があります。



<対象の研修会>

- 日本スポーツ協会が実施する更新研修会
- 都道府県体育・スポーツ協会が実施する更新研修会 ※それぞれホームページ等より開催の確認をして下さい。
- SAJ競技本部が実施するスキー・スノーボードコーチ更新研修会
※開催方法等について検討中です。決定次第、通知やHP掲載にてお知らせします。
※情勢等によっては実施ができない場合がございます。その際は上記の更新研修会を受講してください。